

全法連

## 第31回「法人会全国大会」栃木で開催

法人会全国大会が、平成26年10月16日(木)、栃木県宇都宮市の総合文化センターにおいて、全国から約一八〇〇人が集まって開催されました。第一部の記念講演では、TBSテレビ報道局解説・専門記者室長の杉尾秀哉氏が「日本の行方」政治と経済の現状分析と展望」と題して講演されました。

第二部の大会式典は、林国税庁長官・福田栃木県知事をはじめ、多くの来賓をお迎えし、会員増強・研修参加率向上・福利厚生制度推進の三部門の表彰、税制改正の提言、租税教育活動の報告があり、大会宣言を採択して終了しました。部門ごとの表彰の中で、大分県法人会連合会が福利厚生制度推進表彰を受賞しました。

## 平成27年度 税制改正スローガン

- まだ道半ば。  
国・地方とも聖域なき行財政改革の推進を！
- 厳しい経営実態を踏まえ、  
中小企業の活性化を図る税制を！
- 法人の実効税率を20%台に引き下げ、  
軽減税率も15%の本則化とする見直しを！
- 本格的な事業承継税制を確立し、  
地域経済を支える中小企業に配慮を！



講演会

## 大会宣言

われわれ法人会は、半世紀を超える歴史を通じ、「健全な納税者の団体」として、税に関する活動を中心に広く社会への貢献活動を展開してきた。

その歴史と実績を踏まえ、新たな公益法人等への移行後も、租税教育など税の啓発活動を中心とした公益的な活動をさらに積極的に展開し、広く社会に貢献していくことをここに誓うものである。

わが国は、今、長引くデフレからの脱却と強い日本経済の再生を目指す政府の積極的な経済政策が一定の効果を上げ、景気は回復基調にある。しかし、今後、経済の自立的な好循環構造を構築するためには、個人消費や設備投資の拡大、賃金上昇の持続が必要であり、それらを後押しする実効性のある成長戦略が何より重要となる。

加えて、持続可能な社会保障制度の確立と財政健全化の両立も国家的課題である。これらの課題に対応するに当たっては、その前提として、行政改革の徹底が行われるべきである。

こうした中、地域経済と雇用の担い手である中小企業は、経済政策の効果が十分に浸透しておらず、引き続き厳しい状況にある。

日本経済の再生のためには、それぞれの地域を支える中小企業の活性化が不可欠であり、われわれ法人会は、「法人実効税率20%台の早期実現」、「事業承継税制の拡充」等を中心とする「平成27年度税制改正に関する提言」の実現を強く求めるものである。

創設以来、納税意識の高揚に努めてきた法人会は、ここ栃木の地で全国の会員企業の総意として、以上宣言する。

平成26年10月16日

全国法人会総連合全国大会

ごあいさつ



日田税務署長  
木下 雅弘

初冬の候、公益社団法人日田玖珠法人会の皆様方には、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

昨事務年度に引き続き、どうぞよろしく願っています。

公益社団法人日田玖珠法人会の皆様方には、日ごろから税務行政全般にわたりまして、深い御理解と格別な御協力を頂いており、この紙面をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

日田玖珠法人会におかれましては、「よき経営者を目指すものの団体」として、税知識の普及や納税道義の高揚を図るための啓発活動を展開されるのみならず、会員企業の発展に寄与するとともに、

青年部会・女性部会を中心に租税教育活動や「税を考える週間」行事をはじめとした地域に密着した社会貢献活動に積極的に取り組むなど、着実に成果を上げられ税務行政の円滑な運営にとって欠くことのできない大きな役割を果たしておられます。

これもひとえに、角会長をはじめとする役員並びに会員の皆様方が法人会発展のため、献身的に御尽力された結果であり、その御熱意と御苦勞に對しまして深く敬意を表する次第であります。

私どもといたしましても、税務行政の円滑な運営に資する法人会の活動を支援させていただくことは最も重要であると認識しており、これまで以上に連携・協調を図り、信頼・協力関係を築いてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

ところで、最近の税務行政を取り巻く環境は、経済取引の広域化・国際化の進展などによりますます

複雑なものとなっております。また、本年4月1日から施行された消費税率の引上げを含む改正消費税法への対応に加え、番号制度の導入等も予定され、国民の皆様への税務行政に対する関心はますます高まっております。

このような中、税務行政に携わる私どもとしましては、環境の変化に的確に対応しつつ、国税庁の使命である「納税者の自発的な納税義務の履行を適正かつ円滑に実現する」ため、e-Tax（国税電子申告・納税システム）等を活用した利便性の高い申告・納付手段を充実するなどして、納税者サービスの向上に努めるとともに、

税務行政の一層の簡素化・効率化に取り組んでいるところでございます。法人会の皆様におかれましては、e-Taxの一層の普及・定着に関し、日ごろから御理解と御協力をいただいておりますこと、心から感謝申し上げますとともに、納付手段の利便性の向上を目的としまし

た「ダイレクト納付」の利用につきましては併せて御利用をお願い申し上げます。

さて、本年7月の税務署の定期人事異動におきましては、転出した職員12名に対して、転入してきた職員は10名となり、職員数が2名減少した25名の体制で税務行政を遂行することとなりました。職務の遂行に当たっては、職員25名が一丸となって、国民の皆様方の御理解と信頼を得て行くため、より一層の努力をしてまいり所存でございますが、職員の減少を考えますと、これまで以上に皆様方の税務行政に対する御理解・御協力をお願いする次第でございます。

最後になりましたが、公益社団法人日田玖珠法人会のみならずの御発展と会員の皆様方の御健勝並びに会員企業の一層の御繁栄を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。



# 第48回 中学生の「税についての作文」

納税貯蓄組合と国税庁は、(財)日本税務協会、(財)大蔵財務協会及び日本税理士会連合会の後援を得て、毎年中学生のみなさんから「税についての作文」を募集しています。

本年度もたくさんの方の応募があり、日田玖珠管内では9校、414編の応募がありました。優秀作品2編を紹介いたします。

## 応募頂いた中学校

- 日田市立東部中学校
- 日田市立三隈中学校
- 日田市立北部中学校
- 日田市立戸山中学校
- 日田市立東有田中学校
- 日田市立前津江中学校
- 日田市立大山中学校
- 玖珠町立玖珠中学校
- 玖珠町立北山田中学校

## 入賞者紹介(敬称略)

- 熊本国税局長賞
  - 前津江中学校 3年 中島 美里
  - 南九州地区納税貯蓄組合連合会 優秀賞
    - 北部中学校 3年 室 史香
  - 日田税務署長賞
    - 東部中学校 3年 三笠 知紘
    - 三隈中学校 3年 田原 未来
  - 日田玖珠納税貯蓄組合連合会 会長賞
    - 戸山中学校 3年 恒藤 奏絵
    - 玖珠中学校 3年 森 千紘
  - 日田玖珠地区税務連絡協議会 会長賞
    - 東部中学校 3年 春末 京香

東有田中学校 3年 中野由利絵

大山中学校 3年 近藤ニコル

大山中学校 3年 尾 右京

玖珠中学校 3年 長尾 あみ

日田玖珠地区租税教育推進協議会 会長賞

東部中学校 3年 野 優花

大山中学校 3年 矢野 里緒

大山中学校 3年 河津 沙耶

北山田中学校 3年 財津 祐希

\*\*\*\*\*

## 熊本国税局長賞

### 『私の読書を支えるもの』

前津江中学校 3年 中島 美里

私は本が好きだ。あのページをめぐる感触と、印刷したての新書の匂いが大好きだ。毎日、少しずつ読み進めていくこともあれば、まとめて一息に読むこともある。私にとって本を読み、目で活字を追うことは日課であり大きに言えば本を読まないと生きていけないと思うくらい大事なことだ。そんな私の大好きな場

所は図書館だ。私の住む町には図書館はないので車で三十分くらいの市の中心部にひとつだけある図書館に行く。その図書館を初めて訪れたのは小学一年生の秋。生活科の見学であった。まずは驚いた。四方八方を本に囲まれ、何日、何週間、何年かけても読み終わりそうにない量の本。それ以来この図書館は私のお気に入りの場所だ。

最近、社会科の公民の授業で私は図書館が税金によってできていることを知った。税金は私たちが普段何気なく使ったり、目にしている役所や交番から学校のような公共施設の建設や維持、水道や道路、橋の維持・管理などの公共サービスに充てられている。そして図書館も公共施設・サービスを提供してくれている。

これまであまり深く考えずに利用していたが、まわりを見渡せば私たちは税金によって大きく支えられている。小中学校の教科書も税金によつて費用が負担されているおかげで無償であること。ごみ収集や公園の管理などの公共サービスにも税金が使われていること。調べてみると、外国では救急車を呼んだ際に負担しないといけない国もあるそうだが、日本では税金でまかなわれていること。毎日あいさつを交わしてくださる交番の警察官の方においてもらえ、

安全な生活が送れるのも税のおかげであり、数えられないくらい多くの恩恵を私たちは受けているのである。

こんなにたくさんの方に使われる税金。これまで大人たちに「納めてもらっている」という程度の感覚だった。しかし、本当は違っていた。実際は私より小さな子どもたちもれつきとした「納税者」である。そして私のもっとも身近な税といえるのが消費税である。この消費税は大抵の物にかかっている。もちろん、子どものおやつやジュース、おもちゃなどにもである。私も幼いころから無自覚ながら「納税者」だったという今を今回想んではじめて気付いた。子どものお小遣いから高齢者の年金まで多くの人々が税と関わって生活しているのだ。これまでは無意識だったが、これからは「自分も納税者」だという自覚を持つて生活したい。

今まで当たり前に通っていた図書館。もしも、納税というしくみがなかったら出会えなかった本がたくさんあったにちがいない。たくさんの人たちが納めてくれる税によつて成り立つ社会、そのおかげで今日も私は図書館から借りた本を読むことができる。



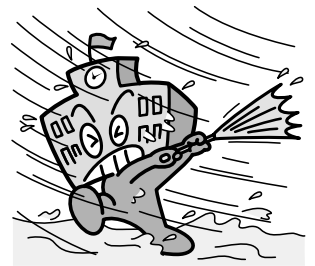
南九州地区納税貯蓄組合連合会優秀賞

『税がつくる輪』

北部中学校 3年 室 史香

私たちの身近にある税といえば、消費税だ。物を買う時は必ず払っている。その消費税がつい最近5%から8%へ引き上げになった。「なんでなんだろう」「たくさんお金払わなくちゃならない」と不満に思った。そう思っていた反面、ある事を思った。「私達が払っている税によって、国や県、市から支援をうけているんだ」と。毎年もらっている教科書、毎日利用している机やイスなど、全て税によってまかなわれている。と言っても、税は幅広く、税の種類や納税の方法は人によって異なる。私の親のように、会社に勤めている人は、源泉徴収といって、給料からあらかじめ税を抜かれている。家や車を買う時も、自動車税や、固定資産税などといった税を払わなければならない。よって、私たち国民は何をするのにもほとんど税が共にあることとなる。しかし、その税によって救われたこともある。

私の住んでいる大分県日田市は、今から約二年前、九州北部豪雨にみまわれた。私の通っている中学校も



一階が水につかり、二階から見るとの氾濫の姿は今でも忘れることはできない。それからその爪跡を残す校舎と地域と共に過ごした。水害から半年から一年たつたくらいだっただろうか。やっと、復旧作業が行われた。今思うと、その復旧費の一部も税によってまかなわれていたのだろうか。その時は、工事をしてくれている人への感謝しかなかった。しかし、常日頃から、全ての国民が税を払ってしてくれたから行われた復旧作業だったと思う。2年前は、私たちが救ってもらった。今も、台風や洪水など、様々な被害にあっているところもある。一人でも多くの人が快適なくらしをするために、税はとても大切な存在だ。

私たちは今、消費税しか払えないから、周りの大人に助けてもらいながら生活している。税がなかったらどうなるのかなと考えると、不安になる。私たちや周りの国民が払っ

ている税が、又私たちのもとへ戻ってくる。税は輪になっているんだ。いつもは何も考えずに払い、使わせてもらっている税。実は、こんなにも知るほどたくさんの人との繋がりを感ずる。税というものはやはり、とても大切なものなのだ。と税を知って思った。



☆日田税務署長表彰

河津龍治氏

(河津建設(株)・日田玖珠法人会理事)



中野和子氏

(株)中野組・日田玖珠法人会女性部会長)



税務署  
異動のお知らせ

(平成26年7月10日付)

役職名	区分		入		出	
	氏名	旧役職	氏名	新役職		
署長	木下 雅弘	(留任)				
総務課長	穴井 宏典	熊本国税局 課税部 資料調査第一課 統括主査	溝口 英治	熊本国税局 課税部 個人課税課 課長補佐		
総務係長	後藤 崇泰	(留任)				
管理運営・徴収統括官	久保 哲男	(留任)				
個人1統括官	岩渕 義文	(留任)				
個人2統括官	藤澤 美幸	(留任)				
法人統括官	豊田 憲昭	熊本国税局 調査査察部 調査管理課 主査	多喜田良一	玉名税務署 法人課税部門 統括国税調査官		